



『三年生の皆さんに贈る言葉』

校長 田代 雅規

リチャード・カーさん（アメリカ人のコピーライター）の本にこんな話がありました。

「この学校は、ぼくのいる場所ではない」と言って、三年間不満ばかりで過ごした少年がいました。彼は、中学校時代は、陸上部で華々しい活躍をして注目を集めていましたが、高校受験で失敗し、自分の意にそぐわない高校になってしまいました。

彼は、高校でやる気を失ってしまいました。その一番の原因は、その高校は校庭が狭く、熱心な指導者もいなくて陸上競技をする環境になかったからです。彼の入学時の成績は上位でしたが、次第に成績も下がり、つまらない高校生活だったようです。リチャード・カーさんは、本の中で少年に対してこんなことを話しています。

夢をもつことは大事なことだが、目の前の現実だけしか見えないのでは、夢をかなえることはできない。進学先の高校に十分な施設がなければ、民間のクラブチームに所属するとか、陸上競技だけでなく他のスポーツをするとか、何らかの方法があり、高校の先生や親に悩み事を訴えて助言を求めれば、きっと何か解決策が見つかったらうと言っています。

まず、夢を実現させるためには自分の置かれている立場をしっかりと見極めることが大切だということです。

A good place to start is right where you are. <リチャード・カー>

「何かを始めるべき場所は、君が今いるその場所なのだ。」

どうしても陸上やりたければ狭い施設のなかでも工夫して懸命に努力すれば、そのうちそれを見ている人が必ず手を差し伸べてくれるだろうし、そうしたひたむきな姿勢や努力する姿が大切だと言っています。

皆さんは、3年間慣れ親しんだ緑野中から新しい世界に進みます。これから皆さんの進む道は、思い描いたような理想の環境ではないかもしれませんが。友達や先生、周りの人たちも今までとは、すべてが変わります。苦しいことも思い通りにならないこともあるでしょう。そんな時は、自分

の置かれた環境を嘆いていても何も解決しません。それをどう受け止め、どう改善していくか、あきらめずに努力することが必要です。必ず助けてくれる人もいるはずです。新しい生活を有意義なものにして、自分の夢を実現するためには、今いる場所をしっかりと受け止め、そこから出発することが大切です。

4月から、新しいスタートラインです。

「 On your mark set start ! 」

頑張れ！ 緑野中の3年生



国際理解教育（3年） 3月8日（木）



中野区国際交流協会（ANIC）のご紹介により、国際理解の授業を3月8日（木）の5、6校時に行いました。区内在住の外国人の方々が3年生の各教室を順に回ってお話をしてくださいました。今年は、韓国からソ・ジョンミンさん、ニュージーランドからダンロップ・エリザベスさん、台湾から郭鶯鶯（カクインイン）さんが、それぞれの国の文化や習慣、衣食住等の生活ぶりを楽しくお話してくださいました。ソさんは電子黒板で映像を使ってピョンチャンオリンピックや韓国の高校生の様子などについてQ&A形式で楽しく紹介してくださいました。

医食同源の台湾、ゲームを取り入れたニュージーランド理解など、これまで社会科の地理的分野（世界の国々）で学んだ知識を活用して生徒からは活発な質問や発言がありました。進路が決まり、これから未来に羽ばたく3年生にとっては、海外に目を向け世界の人々とグローバル社会に生きる国際理解が進んだ充実した授業となりました。



ソ・ジョンミンさん
〔韓国〕



ダンロップ・エリザベスさん
（ニュージーランド）



郭鶯鶯（カクインイン）さん
〔台湾〕

薬物乱用防止教室（1年） 3月8日（木）

6校時、地下体育館で「ダメ！ゼッタイ～STOP・薬物乱用～断る勇気」と題して、薬物乱用防止講演会を開催しました。

野方警察署と東京中野ライオンズクラブから6名の職員が来校し、薬物の未然防止用DVDを視聴し、中野ライオンズクラブの職員、高橋万里子さんが講師となり、薬物の種類、危険性、依存後の実態など詳しく説明してくださいました。講演会の後には、「そもそも薬物って何？」「いくらぐらいするの？」などと質問した生徒もいました。

本校の生徒にとっては別次元のような話でもありましたが、国内においては、薬物は低年齢層に蔓延している深刻な実態を聞くことができました。生徒からは「小学校で聞いた内容とは異なって、改めて恐ろしさを考えさせられた。」「自分だけでなくまわりの人を傷つけてしまうことがわかった。」「人に流されずに、はっきり断れる人になりたい。」などの感想がありました。



「ダメ！ゼッタイ～」のスローガンのように、薬物には絶対手を出してはいけないことを実感できた講演会になりました。



社会を明るくする運動 作文コンテスト

『容姿差別といじめ』

2年A組 宮島 オドラ アビゲイル

私は、ガーナ人の父と日本人の母から生まれました。幼い頃から、「自分は周りの人とは違うのだ。」と思いながら生きてきました。なぜ私がそんな気持ちで生きてきたのかというと、いじめがあったからです。

小学校に入ったとき、高学年の男子に周りの子と違う髪のことを言われたり、肌の色のことを言われたりしました。当時の私は、自分が黒人とのハーフということがとても嫌でした。私がみんなと違うからだ、肌が白くてまっすぐな髪だったら良かったのになんて思っていました。

一歳上の子に「髪痛んでいるね。」と言われました。その頃は、意味が分からなかったので、母に「私の髪は痛んでいるの。」と聞くと「痛んでないよ。これがあなたの髪の毛なの。」と言われ、とても嬉しかったのを覚えています。

小学校高学年になった頃、ある男子がクラスのリーダー格の男子にいじめられていました。周りの人は見てみぬふりか、リーダー格の男子と一緒にいじめをするかでした。私も見てみぬふりをしていました。半年以上経ったある日、突然クラスのリーダー格の男子といじめられていた男子が「おい、ガーナ」と言ってきたので、びっくりしました。私以外の同級生にも「デブ、ブス、ガリ」など心に刺さるような言葉を言ってきて、その時初めて、「相手は、いじめさえできれば誰でも良い」のだと気がきました。実際、長期間続くいじめは少なく、短期間でさまざまな人が、いじめやいじめられを経験していることが多いと思います。



しかし、いじめが起きる原因は特に大きな問題がある訳ではないのに起きてしまう場合があります。つまり、いじめられている人に問題がある訳ではなく、いじめる側に心の問題があることが多いのではないのでしょうか。いじめられていた男子は、自分がいじめられないように、何度も罪もない人に暴言を吐いたり、容姿を馬鹿にしたりしていました。男子は、いじめられていた頃とても傷ついていたのだと思います。その反動がそうしたのかもかもしれません。でも一番悪いのは、人に暴言を吐いたり、容姿を馬鹿にする人だと思います。

世界には様々な人間が暮らしています。当然、外見や宗教、言語、考え方等も違います。ある人が「自分の外見、宗教、言語、考え方が最も正しい。」とっていたらどうなると思いますか。きっとその人は、外国から来た人を見たら差別したり、冷たい態度を取ったり見下したりするのではないのでしょうか。そもそも、みんながみんな同じであることなどあり得ないと思います。

いろんな人がいるのだから、たくさんの種類の言語や宗教、考え方があることを理解して受け入れて生きていかなければなりません。もっと視野を広げなければいけないと思います。たくさんの人と関わり、「あんな人もいるのだ。」という考えをもつことが大切だと思います。

私は、年齢を重ねていくうちにたくさんの人と出会い成長してきました。幼い頃は、同じ歳くらいの子に傷つく言葉を言われることもありました。きっとひどい言葉を言って人を傷つけてきた子も何か心に不安があったのかもかもしれません。友人や家族、知らない人に知らず知らず自分の気にしている所を言われ、傷つかされてきたのかもかもしれません。

私は、いじめはなくなるとは思いません。でも、いじめられている人、いじている人を助けることはできると思います。私が男子に暴言を吐かれていたときに助けてくれた子や「大丈夫。」と優しく声をかけてくれた子もいました。その時は、心が暖かくなり「一人じゃないのだ。」と思うことができました。いじめられたり、いじめをしたりした人は、必ず周りの人に相談すべきだと思います。必ず誰かが助けてくれます。

お知らせ掲示板

緑野中・部活動の結果

【陸上部】

東京都ロードレース大会

1月21日

◆会場：夢の島陸上競技場周回コース

◆結果

【男子】

<2・3年 3km>

永井 翔馬君 12分12秒 (組31位)

矢島 聖琉君 10分57秒 (組14位)

松浦 安吾君 11分06秒 (組11位)

七元 杏理君 11分20秒 (組24位)

渡邊 真聖君 11分14秒 (組17位)

<1年 2km>

川嶋 聖成君 8分27秒 (組23位)

【女子】

<2・3年 2km>

安永 緋奈さん 10分39秒 (組29位)

西 杏奈さん 7分35秒 (組5位)

村松 七海さん 9分15秒 (組29位)

山本 羽南さん 8分33秒 (組12位)

<1年 2km>

大西 青衣さん 8分39秒 (組15位)

中埜 遥さん 8分30秒 (組23位)

大浜 愛莉さん 8分46秒 (組19位)

隅田 杏さん 8分53秒 (組23位)

仲田 萌絵さん 8分35秒 (組14位)

【サッカー部】

冬季研修大会 1月21日・2月12日

◆会場：緑野中、北中野中

◆結果：○ 2-1 ● 南中野・実践学園

○ 4-0 ● 第五中

○ 3-1 ● 第五中

○ 2-1 ● 宝仙学園中



【卓球部】

東京都中学校新人卓球大会 12月23日・24日

◆会場：江戸川スポーツセンター

◆結果：緒方 雄大君 (2年) 2回戦

浅見 向日希君 (2年) 1回戦

須田 柊花さん (1年) 3回戦

【吹奏楽部】

東京都中学校吹奏楽アンサンブルコンテスト

◆会場：府中の森芸術劇場

◆結果：管楽4重奏 銅賞

金管4重奏 銅賞

【バレーボール部】

中野区冬季研修大会 1月28日・2月11日

◆会場：緑野中・中野中

◆結果：<予選リーグ>

○ 2-0 ● 北中野中

● 0-2 ○ 中野中

<決勝リーグ>

● 0-2 ○ 南中野中

○ 2-0 ● 都立富士中

● 0-2 ○ 中野七中



【バドミントン部】

冬季研修大会 1月7日・8日

◆会場：中野中学校

◆結果：2部大会

女子個人戦 <シングルス・ダブルス>

永島 楽響さん (2年) 第3位

草川 愛未さん (1年) ベスト16

草川 愛菜さん (1年) ベスト32

佐治さん (2年)・五十嵐さん (2年) 優勝

男子個人戦 <シングルス・ダブルス>

高野 華鳳君 (2年) ベスト8

福士 智悠君 (1年) ベスト8

池田 希君 (1年) ベスト16

人見君 (2年)・谷本君 (2年) ベスト16

佐藤君 (2年)・渡辺君 (2年) ベスト16

吉川君 (1年)・島中君 (1年) ベスト8

1部大会

女子個人戦 <シングルス・ダブルス>

永島 楽響さん (2年) 第6位

佐治さん (2年)・五十嵐さん (2年) 第5位

【男子バスケット部】

中野区南北対抗戦 1月28日

◆会場：中野中学校

◆結果：ストーン・ハーリー君、矢島聖琉君 出場
ストーン・ハーリー君：MVP・得点王

【女子バスケット部】

中野区南北対抗戦 1月28日

◆会場：東大附属中学校

◆結果：山本羽南さん、大川内詩英奈さん 出場